

# 令和5年度年間リーグ戦大会開催要項

朝霞市ソフトボール協会

- 主催 朝霞市ソフトボール協会
- 協賛 朝霞市、朝霞市教育委員会、朝霞市体育協会
- 大会日程 令和5年5月14日(日)より
- 雨天連絡 試合可否は競技運営委員会にて午前6時30分に決定する。  
問合せ先 遠藤競技運営委員長(090-4535-0648)  
江川競技運営副委員長(090-8316-1514)
- 雨天等で試合が出来なかった場合、変更日は協会から該当チームへ連絡する。  
(予備日は日程順に使用しない場合がある)
- 大会会場 内間木球場・青葉台グラウンド・ニ中ソフトボール場
- 参加資格 協会登録チームで参加費を納めたチーム。
- 競技方法
1. 試合は、リーグ戦勝ち点制方式とし、男女各クラスの1位、2位を表彰する。  
男子A・Bクラスは次年度上位、下位チームのクラスの入替えを行う。
  2. 試合は7回70分とし、70分を超えたら新しい回に入らない。  
また、65分を経過し5点以上の差がある場合は新しい回に入らない。  
8回からタイブレークを適用し、時間経過後同点の場合は引き分けとする。
  3. 得点差によるコールドゲームを採用する。  
(3回以降15点、4回以降10点、5回以降7点以上の差が生じたとき)
  4. 降雨、日没等で試合が中止となった場合は5回を経過すれば試合成立とする。
- 競技規則
1. 打順表は、試合の30分前(第一試合のみ)他は前試合の3回終了時に主将が  
審判員に提出する(選手名は「姓名」を記入すること)
  2. ベンチは組合せ番号の若いチームを一塁側とする。
  3. フィルディングは5分間とし、後攻チームから行う。但し、運営の都合上  
時間の短縮、または中止することがある。(注1)
  4. 上記以外は、2023年度オフィシャルルールによる。
- 審判 試合の審判は指定された審判員が行う。また、第一試合はコート担当チーム、第  
二試合以降は前試合を終了した両チームが担当する。

- コート担当
1. 試合の会場準備と第一試合のコート運営はコート担当チームが行う。
  2. 第二試合以降は、前試合を終了した両チームが担当する。
  3. 最終試合の両チームが、コート整備、用具の整備、保管を行う。  
(コート運営担当者の指示に従う)
- その他
1. 試合を棄権したチームは、必ず次試合のコート担当・審判を行う。(3名)
  2. 女子の上位チームは、朝霞地区四市大会の出場権を得る。(注2)
  3. 駐車場、ゴミ等の処理、球場周辺での練習、その他(球技運営に関する注意事項)を厳守する。
  4. 全てのグラウンドの周辺での用具を使った練習を禁止する。  
(前試合終了後10～15分間、自チームベンチ側外野地域内で練習が行える)  
但し、運営の都合上時間の短縮または、中止することがある。(注1)  
また投球練習、キャッチボールに限り試合中のグラウンドで行うことができる。  
(前試合2回終了後、自チームベンチ側の外野ファウル地域内で一組ずつ)
- 

#### 【特別ルール】

- ・登録名簿は3月の代表者会議時に提出とする。
  - ・試合提出時のオーダー表を優先するが、選手の追加、変更は審判員に口頭で伝える。  
(選手の追加、変更届用紙は使用しない)
- 

注1 試合の天候不良が予想される時、また試合が伸び、最終試合及び後片付けがグラウンド借用時間を過ぎる恐れがある場合等に適用する。

注2 2023年朝霞地区四市大会は、11月12日(日)志木市で開催予定。

#### 順位の決定方法(勝ち点制)

イ. 勝ち(+2点)   ロ. 引分け(+1点)   ハ. 負け(0点)   ニ. 不戦敗(-1点)

1. 勝ち点と同じの場合は、同じ対戦の勝者。
2. 引分けの場合は、総得失点差での上位。
3. 総得失点差が同じの場合は、クラス上位チーム。

以上

# コート担当チームの役割

- ◆コート競技運営責任者(各面に1名配置)の指示に従う。
- ◆試合を棄権したチームも必ずコート担当者5名を出す。

※ 以下はリーグ戦の場合。市民総体・トーナメント大会はそれぞれの大会要項による。

## ■コート造り・第一試合(コート担当チームより5名)

- 1) 会場作り
  - ・グランド作成(整地、ライン引き等 試合の出来る状態に)
  - ・副審判席、得点掲示板等の補助施設の設置。
- 2) 第一試合の審判を、主任審判員と相談して行う。(審判資格取得者は率先して行う)
- 3) 第一試合のコート担当を行う。  
(グランド整備、試合ボールの管理と処理、得点掲示板の記入等)
- 4) 必要に応じて、フィルディング終了時にグランド整備、ラインの手直しをする。

※ 試合終了後のグランド整備は、試合終了後の両チームで行う。

## ■第二試合以降(前試合終了チームより3名ずつ)

※ 試合を棄権したチームも必ず3名出す。

- 1) 次の試合の審判を、主任審判員と相談して行う。(審判資格取得者は率先して行う)
- 2) 次の試合のコート担当を行う。  
(グランド整備、試合ボールの管理と処理、得点掲示板の記入等)
- 3) 必要に応じて、フィルディング終了時にグランド整備、ラインの手直しをする。

## ■最終試合終了後(最終試合の両チーム)

- 1) 試合終了後、両チームでグランド整備を行う。
  - 2) 会場の後片付け。
    - ・用具、備品等の清掃(ラインカー・ベースの水洗い)
    - ・用具、備品、消耗品は所定場所で保管する。
- ※ 用具、備品、消耗品に不備また欠損等があった場合は、必ずコート競技運営責任者に報告する。